小学校４年　算数　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識･理解	数と計算	量と測定	図　形	数量関係	
＋10％ より高い	2	1	3	3	1	1	1	6
±10％ の範囲内	3	4	3	8	0	1	1	１０
－10％ より低い	1	2	1	2	0	1	1	4
計	6	7	7	１３	1	3	3	２０

（２）考察

①　全体について

ア　基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。

イ　20問中16問が、設定通過率の「±10%の範囲内」または「＋10%より高い」ところにあり、学習状況はおおむね良好である。

②　成果

ア　課題となっていた数直線上の大きな数の読み取りについては､通過率が大幅に向上した。

イ　長さについての豊かな感覚、円の半径についての理解、棒グラフの読み取りと理解については、良好である。

③　課題

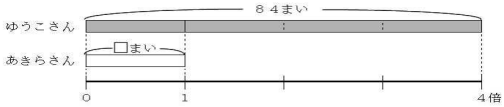
ア　数量の関係を数直線を基に捉え、□を用いた式に表し、□に当てはまる数を求めることについて、課題が見られる。

イ　２つの折れ線グラフを重ね合わせたグラフの考察について、課題が見られる。

（３）今後の指導

ア　２つの数量の関係を数直線図やテープ図に表したり、式に表したりする算数的活動の充実を図る。

ゆうこさんはシールを８４まいもっています。これは，あきらさんのもっているシールの数の４倍です。あきらさんのもっているシールを□まいとして，かけ算の式に書きましょう。また，□に**あてはまる数**を求めましょう。　(14

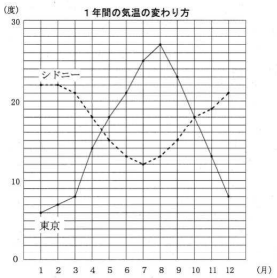


・「もとにする量」を求める場合には、直接、除法の式を導くのではなく、数量の関係を数直線図やテープ図を基に捉え、□を用いた乗法の式に表す活動が大切である。
・「比べる量」、「倍」から「もとにする量」を求めるような場合についても、除法が活用できることの理解と習熟を図りたい。
・図と式を関連付けて、自分の考えを説明したり、分かりやすく伝え合ったりする活動を取り入れることが効果的である。

イ　資料を目的に応じて折れ線グラフを用いて表したり、それを読み取ったり調べたりする活動を重視する。

けんじさん，みきこさん，はやとさんが上のグラフについて，説明（せつめい）しています。この中で，まちがった説明をしている人を１人見つけ，正しく直しましょう。

けんじ　「東京とシドニーでは，最高（さいこう）気温は５度ちがいます。また，東京とシドニーでは，最低（さいてい）気温は６度ちがいます。」
みきこ　「気温の上がり方がいちばん大きいのは，東京では３月と４月の間です。シドニーでは，９月と１０月の間です。」
はやと　「東京とシドニーの気温のちがいがいちばん大きいのは８月で，１４度ちがいます。」



(20全国調査の関連問題、“問い”を発する子どもの基盤作りに資する問題

・重ねてかいた折れ線グラフから分かることを発表したり、その理由を根拠を明らかにして説明したりする活動を大切にしたい。また、それぞれのグラフの示す具体的な数量や傾向を読み取ったり調べたりすることで、２つのグラフを比較して考察ができるようにしたい。